

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	拡大統合フレームワーク信託基金(EIF)拠出金(任意拠出金)		担当部局庁	経済局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度開始 平成24年度終了		担当課室	国際貿易課		課長	齋田 伸一	
会計区分	一般会計		施策名	国際機関等を通じた経済・社会分野に係る国際貢献に必要な経費				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省設置法第4条第2項 外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等	EIF信託基金からの拠出要請				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	LDC諸国が貿易を国家開発政策に組み込み、貧困削減及び多角的貿易体制参画を実現し、貿易分野における能力向上を達成すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	WTO, UNCTAD, ITC, UNDP, IMF, 世銀の6国際機関による後発開発途上国(LDC)向け貿易関連技術支援共同イニシアティブであり、LDCが貿易を国家開発政策に組み込むことにより、貧困削減、多角的貿易体制への参画を達成し、貿易分野における能力を向上させることを目的に、ティア1(DTIS:診断調査、IF時には「ウィンドウ1」と呼称)及びティア2(特定のキャパシティー・ビルディング・プログラム、IF時には「ティア2」と呼称)の2段階の技術支援を実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	18	31	5	4	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	18	31	5	4	-	
		執行額	18	31	5	-	-	
	執行率(%)	100%	100%	100%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	援助プロジェクト実施の増加		成果実績	件	1	13	28	28
	援助プロジェクト実施案件数		達成度	%	100%	130%	215%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	事業報告に関する会議数		活動実績 (当初見込み)	回	1	1	1	-
						(1)	(1)	(1)
単位当たりコスト	185,985円/1件		算出根拠	日本の拠出金(5,207,600円)/実施案件数(28件)				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	その他	4,192	-	廃止				
計	4,192	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	2010年11月の時点で、11カ国の診断調査を実施中である。また、6カ国が承認待ちとなっており、プロジェクトは着実に進展している。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	廃止		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			